

# 電友会四国連合会報

第 67 号

元年 7 月



## 目次

電友会四国連合会総会	二
香川電友会総会	二
高知県電電退職者の会総会	二
私は今	二
春の叙勲(森登士夫さん)	四
電気通信協会賞を受賞(菅優さん)	四
あの人この人	四
NTTOB春季テニス大会(松山)	四
余 米	五
敬 弔	五
主任年金コンサルタントを配置	五
図書「入江の波」紹介	五
NTT情報	六
デラックス電報の利用が増加	六
週間天気予報が更に充実	七
誕生日のお祝い用に「星座」を追加	七
テルウェルだより	八
表紙のことば	八
ハテナ?	八
電友会からご注告!	八
随 筆	九
磯岡 芳明	
下元 三男	
高原 博	
地行 祐助	
溝渕 匠	
山口 満夫	

### 電友会四国連合会第十八回総会

薫風さわやかな五月十日、N T T プラザ松山において、来賓・代議員など六十余名が出席して開催。

会長あいさつに続いて、ご来賓の佐田 N T T 四国支社長、藤谷電気通信共済会四国支部長からご祝辞を頂戴、特に佐田支社長からは N T T を取りまく厳しい経営環境や、今年はベストサービス元年であることなどが述べられたあと、「地域とのつながりを最も大切にしたいので、O B の方々もいろいろ聞かせて欲しい」旨要望された。

次に松山の長谷川茂氏を議長に選出して議事に入り、昭和六十三年年度事務報告、同決算報告を承認。

○収入 四、一五二、一五二円  
○支出 三、〇四五、三〇〇円  
○繰越 一、一〇六、八五二円  
平成元年度事業計画案、同予算案を原案どおり可決した。

つづいて、今年役員改選期(二年毎)に当たするため、暫時理事会を開き、赤刎連合会長および石田会計監事の辞意表明に伴う役員選衡の結果、赤刎前連合会会長を顧問に推挙するとともに、新役員は次のとおり決定した旨人事報告が行われ、最後に六車新連合会会長からあいさつがあつて閉会した。

- 連合会長 六車美一(新・愛媛)
- 副会長 菅 優(新・愛媛) 横井秀夫(留・香川) 賀川明孝(留・徳島) 大西正澄(留・高知)
- 理事 西本寿恵一(新・愛媛) 喜田鎮雄(留・香川) 地行祐助

(留・徳島) 井上広次 (留・高知) 加藤省三 (留・愛媛) 半明孝治 (新・同)

### 香川電友会総会

平成元年度香川電友会総会は、去る六月二十六日(金)午前十時から高松城内披露閣において、朝方の雨模様も心配なく会員三五〇余名の出席を得て盛大に開催した。

まず、六三年度物故会員九名、配偶者四名の冥福を祈って黙祷、横井会長のあいさつに続いてご臨席の田中 N T T 香川支社長のご祝辞をいただき、祝電披露のあと議長に木村信義氏を選出して議事に入る。

六三年度一般経過報告(会務報告、年金情報)収支決算ならびに会計監査報告を満場の拍手で承認、引続き会則の一部改正(案)について審議し、執行部提案どおり可決された。また横井会長の再任を満場一致で承認可決し、役員(植田茂、木村信義、濱口忠士)の後、新執行部を代表して横井会長から N T T 支援と会員の親睦、情報の交換等についてあいさつがあり、続いて長寿者への慶祝金の贈呈(米寿三名、喜寿一四名)、新入会員を紹介して無事総会を終了した。

### 高知県電電退職者の会総会

平成元年度総会(第二十八回)は去る五月二十三日(火)午後三時から高知商工会館に百四名の会員参加のもと開催された。

井上副会長司会により、まず物故会員の冥福を祈って黙祷、大西会長のあいさつに続き、杉本高知支店長からご祝辞を頂戴し、新入会員の紹介、長寿者(米寿二名、喜寿七名)の祝福、長寿者代表吉田良馬氏の謝辞のあと、議長に楠瀬邦夫氏を選出し議事に入る。

昭和六十三年年度事業報告・会計報告・会計監査報告が承認され、引続き平成元年度の事業計画(案)、予算(案)について慎重審議の結果、執行部からの提案通り可決された。続いて会長選出に移り、大西会長の再任を満場一致で可決、役員改選においては、青木幹事の勇退に伴い、新役員に楠瀬邦夫氏を指名、他の旧役員全員が再選され、無事総会を終了した。

総会終了後、午後四時三十分から別室において有志による恒例の懇親会を開宴し、N T T 高知支社及び高知支店、電通共済会高知営業所からの招待客を交えて、総勢九十名の祝宴となり、盛会裏に名残りを惜しみつつ、再会を期して午後六時三十分散会した。(安藤記)

### 私は今



○片岡 増一 (松山)  
冬至梅が元旦に開花、松竹梅を造りました。庭続きの三〇坪の果樹園には、一五年前果樹試験場で分けてもらい、溢柿に接いだ新甘柿が溢甘両方の実をつけています。馬鹿ほど大きいのを作りたいと言いますが、安西柑を切つてウチムラサキに替え、大

きな実を眺めて楽しんでます。また近くで借りている七〇坪の畑とで晴耕雨テレの毎日。さらに文、経、政の講演会を探して出かけ、市教委主催の国際セミにも出かけています。いつまで生きることやら計画の立てようもないが、夏はビール大2、冬は酒2合の晩酌の味を忘れないよう、健康に留意しています。

○ 竹田 輝豊 (松山)

毎日毎日が日曜日、することといえば、週一回の病院通いくらいです。

元来歴史が好きで、ふとしたことから月一回古文書解読研究会に参加しています。資料は主として江戸後期、おかげで松山付近の藩政や庶民の生活状況の一部を知ることができ、殊に赤穂義士の切腹等の詳細も知ることができたほか、幕末時に松山藩の取った処理状況もよく分かりました。

読みにくい文書が解読できた時の喜びは格別で、今後も続けたいと張り切っております。

○ 比翼 力 (松山)

今年金婚式、結婚一年目に最初の召集、留守中に長女が生まれ、日米開戦翌々日に召集解除されたが、長男誕生後間もなく二度目の召集をうけ、終戦後一年余でパレンバンから帰還した。

ある人の曰く「新婚が三度あってよかったな」と、考えようによってはそうかも知れぬ。昭和一四年三月結婚以来五〇年、近頃は健康管理等にやかましい妻との口争いも屢々、これも夫婦のレクリエーションだそう、家内のお陰で今日まで元気でいられたのかもと思いつつも、「ありがとう」と言うのが照れくさいのである。

朝のラジオ体操は二〇年来一日も欠かさず、煙草も一五年前に止めた。本態性高血圧症はお迎えが来るまで医者と縁が切れぬらしい。

○ 吉田 丸蔵 (松山)

名古屋以西の80才以上の会員で組織する老人のゴルフ会「関西八十路会」の春季コンペが、さる四月七日道後コースで行われ、健康と親善の名のもとに九〇名が参加した。

最年長は95才(二人)、以下90才89才と、功なり名遂げ、今後は健康と長寿を目標にゴルフを楽しんでいる人ばかり、したがってスコアーなど気にせず、コツコツとボールを追って歩く人ばかり。

同伴競技者と競技して、私のゴルフ観もついでにこれが本場の老人ゴルフかなと感じた次第。

○ 黒田 富一 (宇和島)

去年の春は宇和島東高校が選抜野球で初優勝、お陰でこちらまで張り気が出た。

しかし、この張り気も五月の家の病氣入院で潤んだが、半月で退院できたのは不幸中の幸いだった。

今春は東京の外孫が早稲田附属高校に合格、兄が慶応高三なので、「兄弟で早慶戦だね」と祝電を打った。

病は気から、よい話には心身ともに元気づけられるが、そうでないのは困る。例のリクルートと消費税、衛生に悪いこと夥しい。

○ 三好 利雄 (高松)

年をとると月日の経つのが早いものです。退職後満一三年を経過しました。このうち六年間は四国整備で厄介になりましたが、じ来よるず園芸にのめり込み、野菜、果物、

早花、盆栽等々、手を広げ過ぎて最近では少々バテ気味です。

百姓の経験のない私が、何故こんなうつつを抜かすようになったのか、自分にもよく分かりませんが、兎に角楽しく、忙しい毎日を元気で頑張っております。

○ 有馬 文雄 (丸亀)

北欧フィンランドの中でも、アウランコ湖と湖の美しさは格別で、スケッチ旅行の私を十分堪能させてくれた。

絵は退職後、市の老人大学で始めたがデッサンがアイマイ、彩色がイマイチ、いたずらに画歴とともに重なるのは未完成品ばかり。しかし、奇跡は白夜のバルト海を渡ったスエーデンのスケッチの中にあった。

巨匠・魁夷先生の「ストックホルムの家」と構図も視覚も同じものが有り、「あゝ私の絵にも成長はあったのだ」と。

○ 福田貴美子 (徳島)

退職して七年、眉山会(女子OB会)の世話や編物、退職後始めたアートフラワー、くみ紐、フラワーデザイン、好きな旅行や健歩会、地域の婦人会、ボランティア講座への参加等、悠々自適とはほど遠い忙しい毎日ですが、これも健康なればこそと感謝しています。昨年は、歩き好きの仲間と富士山へ登りましたが、山頂での胸つまる感動と涙、涙のあの気持は今も忘れられません。

今年、大山を目差し計画進行中です。



○ 楠 義春 (板野)

早いもので、退職して六年になりました。退職後造園技術を習得し、地域福祉に活用しています。ボランティア分野では朗読録音手話、点訳を通じての身障者とのお付き合いをしております。

そのほか町営バラ園の管理地域福祉の推進に励み、少しでも社会に貢献したいと思っております。

健康づくりのためには、余暇をみては温泉巡りの日々を過ごしておりますが、今後は自分の力で出来ることは何ごともボランティアの心で活動していきたいと思っています。

○ 松本 義男 (高知)

五九年から高知県高坂学園生涯老人大学に在籍し、現在も手弁当で消費税から源氏物語まで勉強中です。

本校は男女共学で、在籍者五九一名、最高年齢九四才、平均年齢七五才の高齢ですが、皆さんは若々しく、少しもその年齢を感じませんし、学習意欲も旺盛で、真剣に勉強しております。

私もクラスの世話役を仰せつかり、微力ながら尽力しておりますが、人生経験豊かな皆さんとの交わりから、新しい人生勉強の出来ることを感謝しつつ切磋しております。

○ 藤崎貢次郎 (室戸)

目に青葉山ほととぎす初鯉!!我田引水?退職して一年、よく生きて来たものと我ながら感心する。

六一年室戸市に転居、寝たきり老人。看護生活半年で解放された。

長い間の留守で荒れ放題、まずは環境整理、周囲の木の伐採、土地の改良、家の修繕等、万能選手ぶりを発揮して一息、しかし細工はりゅうりゅう仕上げをごろうじるとはいかず、結果は惨憺たるもの、私が万能なら技術者は不用?反省している。



春の叙勲

平成元年春の叙勲に際し、多年にわたり電気通信業務に貢献されたご功績により、高松市の森登士夫様が叙勲の栄に浴されました。心からお喜び申し上げます。

○ 勲六等瑞宝章  
森登士夫様



電気通信協会賞を受賞

菅 優氏(松山)

永年にわたり、公衆電気通信事業ならびに電信電話建設事業の振興に寄与されたご功績により、さる五月二〇日、社団法人電気通信協会々長(米沢滋氏)から「電気通信協会賞」が贈られ、表彰されました。まことにおめでとうございました。

あの人  
この人

民踊と人形づくり 20年

宇田芳子さん(高知)

退職後、人に誘われるままに、高齢者の民踊とホークダンスの会「白萩会」の門を叩いたのが始まり、じ来病み付きになり、踊り続けること二十年に及ぶ。

五十四年には、宇田さんが中心になって高知県電電退職者の会に民踊サークルを結成、代表者として今日もお世話を続けている。

白萩会では、毎年老人ホームの慰問を続けているが、お年寄りの喜ばれる姿に接する時、「民踊やホークダンスをしていてよかった」と、つくづく思うそうである。



かつて、全日本体育連盟主催で、東京代々木公園の大舞台で踊った時は、さすがに喜びが込み上げて来たとか。

しかし、特に印象深いのは、沖繩民踊を通じて楽しい一時を過ごした時のことである。

高知県出身の戦死者を祀る「土佐の塔」の前で、慰霊のため「鳴る呼踊り」を踊ったが、踊りの最中、それまで晴天だった沖繩の空は、不思議にも一天俄にかき雲り大粒の雨となっ

た、踊り子達は「土佐の人が踊ってくれたので、戦歿兵士の嬉し涙に違いない」と、驟雨に打たれたながら、感涙に咽びながら踊り続けた時のあの感慨は、今もなお脳裏に焼き付き、忘れることができないそうである。

宇田さんはまた人形づくりが好きで、踊りのかたわら縫いぐるみ等抱き人形、木目込み人形、紙粘土づくりの精を出し、家に居る時は殆んど人形を作っておられるそうである。

高知県老人能力開発協会主催の創作展に毎年出品、大丸百貨店、都電西部百貨店、高知市老人憩い所などのバザーにも出品するほか施設の子供達にはクリスマスプレゼントにして喜ばれるとともに、社会福祉にも大いに貢献している。

退職後、一日も欠かさず日記を付け、振り返っては自己反省と楽しい思い出のよすがとし、OB仲間との交流につとめ、年金に感謝しつつ、喜寿を超えてますますお元氣な宇田さんである、どうかいつまでもご健勝でご精進のほど、切にお祈り申します。(高市記)

平成元年度NTTOB春季テニス大会

桜の花も散り、葉桜のよい四月十五日(土)、昨夜来の雨で天候が心配されたが、幸い快晴に恵まれた快い堀之内市営コートにおいて新しく入会された前NTT愛媛支社副支社長長の三好章雄氏を迎えて参加者全員が心地よい汗を流しました。

なお、愛媛県軟式庭球連盟から本年発刊予定の愛媛軟式廊球誌に、「クラブの歩み」を紹介しておきました。同好者も増え、ますます旺んなくなって来たことを嬉しく思います。

(松山・木村記)  
(試合結果は次のとおり)

優勝 田内、内藤組 三勝一敗  
準優勝 続木、三好章組 三勝一敗  
三位 藤野、小松組 二勝二敗  
四位 三好純、溝田組 一勝三敗  
五位 山崎、玉木組 一勝三敗  
一位、二位、四位、五位は対戦成績による。

余 栄 (死亡順)  
正七位勲六等瑞宝章 故 賀本寿栄様 (松山)  
正七位勲六等瑞宝章 故 重見政高様 (松山)

敬 弔

次の方々が逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

氏名	死亡年月日	享年	所属
丹生谷保様	元・3・10	八三	所沢
重見政高様	元・3・26	六八	松山
片岡利盛様	元・4・25	七一	南国
松原 馨様	元・4・28	八〇	松山
本田 耕様	元・4・29	六六	安芸
飯尾博司様	元・4・30	八六	高知
下坂義賦様	元・5・2	八四	高知
宮脇義雄様	元・5・8	七九	高松
武市初雄様	元・5・17	八三	徳島
上村 久様	元・5・20	六一	宿毛
宇和川清志様	元・5・29	七四	松山
重松幸雄様	元・6・4	五九	松山
合田 勇様	元・6・7	八四	松山
矢野治郎衛様	元・6・19	八八	宇和島
小島繁吉様	元・6・19	七七	松山
白石フジエ様	元・6・21	八二	今治

主任年金コンサルタントを配置

NTT四国支社労働部に、年金関係の相談窓口として、主任年金コンサルタント(片岡宏真主査)が配置されました。

ただし、支社には原簿が無いので、お問い合わせは次の要領をお願いします。

○年金額や、これにかかる税金などについては、(〇八九九一四一一〇〇〇)へ  
○手続き関係などについては、標記コンサルタント(〇八九九一三六一二〇八五)へ

赤松 功著

「入江の波」のご紹介

四国電話印刷(株)西本寿恵一

わが社の先代社長赤松功さんは、愛媛県吉田町立間のご出身、昭和二十五年に東大法科を出られ電電入り、大阪や東京の通信部長などを経て関東の副局長を最後に勇退された方。その間に書き留めておられた数々の随筆を「入江の波」という本にして出版されました。その中でも「昭和見聞録」は、大正生まれの私などにとっては、なつかしいことばかりさらに「若き日の正介さん」では、あの遠藤正介氏の知られざる側面が面白く紹介されています。

しかし何と云っても、「南四国の風物」のあの素朴で美しい姿が随処によく描かれていることとす。ちなみに「入江の波」も南予の謳、わがふる里の城山に父と登りてながめたる入江の波の夕けしき、忘れぬ影は今もなほ(注、鉄道唱歌「汽笛一声新橋を」の作者、宇和島出身の大和田建樹の詩)から引用されています。お読みになりませんか。

(ご照会先 当社穴吹常務まで0899-642317)

NTT情報

刺しゅう電報が好調に推移  
デラックス電報の利用が着実に増加  
93%が慶弔電報

NTT四国では、このほど六十三年度の電報利用状況をとりまとめました。

これによると、メロディ・押し花電報などのデラックス電報は、昨年度比約一・七倍の三六・五万通と好調に推移し、なかでも刺しゅう電報が昨年度の四倍の八、〇〇〇通、デラックス押し花の三・五六倍四、〇〇〇通と大きな伸び率をしめています。

また、比率では、デラックス電報全体の約七割が押し花電報で、二割がメロディ電報となっており、高級化志向が強まっているといえます。

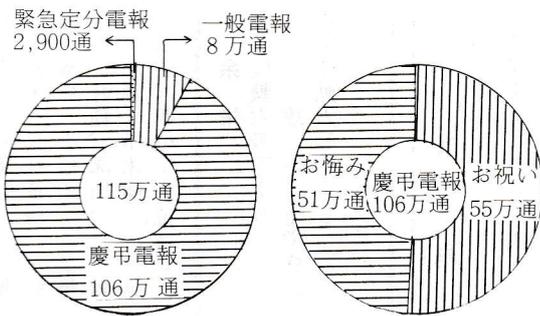
電報の総利用数は、一一五万通で統一地方選挙のあった前年度に比較すると約五万通の減少ですが、選挙関係電報を除くと微増傾向となっています。

このうち九三%の一〇六万通が慶弔電報であり、ほとんどの電報が入学、卒業、結婚等お祝いや、お悔み用として人生の節目、節目を飾る「言葉の贈り物」としてご利用されています。

「参考」

デラックス電報の種類  
・メロディ電報 ・押し花電報 ・デラックス押し花電報 ・刺しゅう電報 ・フラワー電報 ・ボイス電報（東京二十三区、横浜市などに着信の場合）

(参考2)



電 報 発 信 通 数

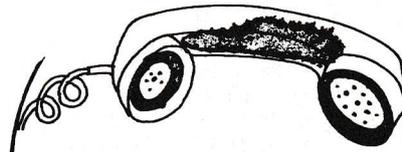
	63年度	62年度	全国通数
一 般	84,000	98,000	3,660,000
慶 祝	555,000	609,000	18,630,000
弔 慰	507,000	486,000	19,180,000
合 計	1,146,000	1,193,000	41,470,000
緊急定文電報再掲	2,900	3,000	74,000

(参考1)

デラックス電報

		63年度	62年度	対前年比
慶 祝	メロディ	76,000	55,000	138%
	押し花	125,000	80,000	156%
	DX押し花	14,000	4,000	350%
	刺しゅう	8,000	2,000	400%
	フラワー	4,000	3,000	133%
弔 慰		138,080	69,160	200%
内 訳	押し花	138,000	69,100	200%
	フラワー	80	60	133%
合 計		365,080	213,160	170%

2割  
7割



「一週間の天気予報が電話で聞ける「週間天気予報」が更に充実  
毎日、予報内容が更新されます」

NTT四国では、六月から「週間天気予報」テレホンサービスの内容を日々更新して、お知らせしています。

これは、これまでの週間予報は週二回（火曜日、金曜日）でしたが、毎日新しい情報が発表されるようになったのに合わせて、テレホンサービスの内容も毎日更新してお知らせしています。

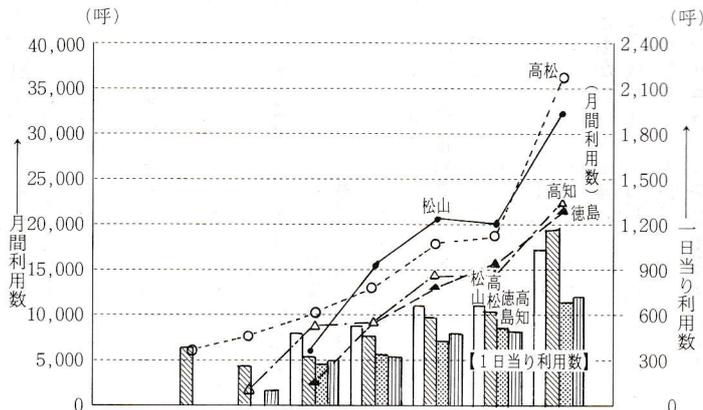
週間天気予報は、一日先～七日先の県予報・地方予報の概況のほか、長雨などの社会的に影響の大きい天候に関する情報をお伝えするものです。

実施地域

- 松山 愛媛県地方の週間天気予報  
電話番号(0899) 3110177
- 高松 香川県地方の週間天気予報  
電話番号(0878) 6210177
- 徳島 徳島県地方の週間天気予報  
電話番号(0886) 5312500
- 高知 高知県地方の週間天気予報  
電話番号(0888) 2319999

週間天気予報サービスは、全国の都道府県、主要都市で実施しており、多くの方にご利用いただいています。四国地方の利用状況は、五月の一か月で約十一万回となっており、ゴールデンウィークとも相まって、三月・四月に比べて2倍近くご利用いただきました。NTT四国では、この「週間天気予報」テレホンサービスで、変わりやすい気象状況に素早く対応して、仕事に、レジャーに活用していただけるものと期待しています。

週間天気予報サービスの利用状況



「メロディ電報に新メニュー  
誕生日のお祝い用に「星座」を追加！  
六月から全国一斉」

NTTでは、メロディ電報の台紙に誕生日のお祝い用として「星座」をデザインしたものを追加、六月から全国一斉に発売を開始しました。

これは、従来のお祝い電報は結婚式用のものがほとんどであったのに対し、最近誕生日・出産などのお祝い用にもよく利用されるようになってきていること、これまでの誕生日用メロディ電報が、主にお子さま向けの「ピ

項目	63.11月	12月	1.1月	2月	3月	4月	5月	備考
松山	月間	-	5,887	15,136	20,763	20,031	32,610	1.1.20サービス開始
	1日当り	-	490	540	670	668	1,052	
高松	月間	6,097	7,527	10,095	13,169	18,218	36,639	63.11.15サービス開始
	1日当り	381	243	326	470	588	631	1,182
徳島	月間	-	-	2,122	9,376	13,440	15,494	1.1.24サービス開始
	1日当り	-	-	265	335	434	516	692
高知	月間	-	1,200	9,191	9,347	14,764	14,725	63.12.19サービス開始
	1日当り	-	93	296	333	476	491	720
四国計	月間	6,097	8,727	27,295	47,028	67,185	69,189	
	1日当り	381	336	1,377	1,678	2,168	2,306	3,646

エロ」のデザインであるため、おとな向けに星占いの星座十二種類をデザインしたものの（曲目はハッピーバースデー）を追加しました。これにより、メロディ電報は七種類（曲目は、六種類）となりました。NTT四国では、このメロディ電報（星座）の追加によりデラックス電報のご利用が増えるものと期待しています。

（参考）

メロディ電報の曲目  
ハッピーバースデー・愛の讃歌・世界は二人のために  
よるこびの歌・こんには赤ちゃん・瀬戸の花嫁

テルウェルだより

ボランティア

高知NTTOB会を結成

さる三月二十四日、主に高知市在住のボランティア経験者や、「何か社会のために役立ちたい、お互いに助け合って少しでも地域社会をよりよくしていきたい」との考え方を同じくする方々のご参加を得て、ボランティアグループ結成総会が開催され、会則の審議、役員の選出、これからの活動等について話し合いを行い「ボランティア高知NTTOB会」が結成されました。

これは、昭和六十一年六月に結成された松山地区に続くNTTOBのボランティアグループで、会員数は総勢五十三名の大グループとなり、今後、地域のボランティア関係団体等の開催する研修会等への参加はもちろん、NTT職域内をはじめ、地域の諸団体との連携を深め、広い活動を実施していくことを計画しております。

「ボランティア高知NTTOB会」の役員は次のとおりですが、この会に入会を希望される方、あるいは、ボランティアを受けたいとお考えの方は、当会福祉センターか、同NTTOB会の事務局長へ「ご連絡ください。」「ボランティア高知NTTOB会」の役員（敬称略）

- 会長 近沢美義
- 副会長 田中喜美栄
- 事務局長 武田勝定（電八三〇六〇八）
- 幹事 中山通、大平治男、森米房、池内寿子、岡崎花子、大田佳代、安岡伊佐
- 会計監査 山崎勝芳、森田幾恵

心がふれあう

ほのぼの写真展の写真を募集

退職者の方々の精神的・文化的ニーズにお応えし、より潤いのある生活を過ごしていただくための援助事業である、退職者文化活動行事の特別企画として、今年も「心がふれあうほのぼの写真展」を開催いたします。皆さまが、日頃暮らしの中で、またご家庭や街角などで、ふと心のふれあいを感じる風景に出会ったときにシャッターを切ったほのぼの写真をぜひご応募ください。応募要領などはつぎのとおりです。

- 一 応募期間 九月三十日まで
- 二 写真規格等 四ツ切り（34cm×25cm）一人三点以内とします。
- 三 展示期間 本年10月23日（月）～10月25日（水）（三日間）
- 四 展示場所 NTT松山支店「もしもしロビー」
- 五 参加賞等 応募いただきました方全員に参加賞を、また、優秀作品（10点）に記念品を差しあげます。

- ※ 写真の裏面に、必ず応募者の氏名、住所、電話番号をご記入ください。
- ※ 詳しくは、福祉センター（〇八九九）三二一九九五へお問い合わせください。
- ※ テルウェルとNTT職域OBとを結びコミュニケーションパイプ「ともがきダイヤル」（〇八九九）四七二九四一番をダイヤルしてください。
- ※ ホットニュースをお知らせします。

表紙のことは

桂林山水風景

莊野 丹秀（内海）

中国桂林に旅する。中国人が「山水天下第一」と稱するだけあって、まさに奇岩と漓江の河の流れは水墨画の世界、約五時間の船旅は、寒い二月の吹きさらしのデッキに立って、吾を忘れてスケッチを楽しむ。

ハテナ？

アレッ!! 変だぞ？

街角で拾った広告の一駒です。

どこがおかしいでしょうか

ひら仮名部分にご注目ください。

- 工事中除行
- 地方発送受承ります
- 名義変更受付
- 歓迎 御一行様
- その一瞬に気をつけよ
- 軽食と喫茶

電友会からご注告!

近頃、人名録を作成・販売する目的で、OBの方々を訪問し、略歴を尋ねたり、写真を預かったりしている人がいるもよう、電友会にもよく照会がありますが、当会とは全く関係ございません。名簿が欲しい方は別として、欲しくない方はご一考されますよう、ご注告申し上げます。

## 隨 筆

## 日本縦断「汽車の旅」(四)

磯岡 芳明(松山)

○六月二十七日午前九時発の札幌市内巡り観光バス「ポプラコース」に乗車したが、ベスト・シーズンのためかバスは満席。バスターミナルを出て間もなく見えてきたのが北海道大学、北海道開拓の歴史と共に歩んできた緑の多い構内には、クラーク博士の胸像や北海道のシンボルであるポプラ並木が有る。

次は昔から札幌市民に親まれていた標高五百三十一米の藻岩山。ロープウェイとリフトを乗り継ぎ、山頂の展望台へ至る。山頂からは、札幌の街並みや遠くには石狩平野、石狩湾も遠望でき、夜景も素晴らしいとのこと。下山してバスに乗り、真駒内オリオンピクニック競技場を横に見て羊ヶ丘展望台で下車。

羊の群が、のんびりと草をはむ牧歌的なムードに包まれた羊ヶ丘展望台。札幌の街並を見下すように建っているクラーク博士の立像などが北の雄大なロマンを感じさせてくれる。この後中島公園―すすきの(歓楽街)―時計台を経由してバスターミナルで下車。所要時間は約三時間。

札幌駅十二時四十九分発の特急で、洞爺駅着十四時四十四分。駅前からバスで洞爺湖温泉まで約十五分。

小休止してすぐ浴場へ。「宇宙一大浴場」と名うっている、パークホテル・サンパレスの大浴場、その豪華さ、スケールの大きさに驚いた。当ホテルの浴場は、全館合わせると千二百坪という広さである。

夕食は前泊組九名で会食。幹事の夫人が当日札幌の朝市で買ってきてくれた「毛ガニ」を満喫した。午後九時前から洞爺湖のイベン

トである花火大会。六月初旬から八月末日までのロングランで、湖上を左から右へと移動する船から打上げられる花火は、一瞬夜空に大輪の花を彩り、燃えつきる間もなく次から次へと上がり、華やかな色彩と周囲にこだまする音が、ファンタジックな世界をつくり出していた。

## 黒檀の硯箱

下元 三男(窪川)

『昭和十四年三月一日、枚方陸軍倉庫火災に際し、上司より命を受けるや、危険を冒し枚方郵便局に馳付け、同局より現金、郵便物その他重要書類の搬出に尽力したるのみならず、引続き幅輦せる災害関係事務処理に当たり、克く其の職責を完了したるは、一般職員の儀表と為すに足る。仍って通信記念日に際し表彰する。』として、私の手許にある黒檀の硯箱には、第六回 通信記念日 大阪通信局長の文字が刻まれています。

当時、守口郵便局から急派されたのは三名、既に京阪電車は不通だったので、京阪国道をトラックに乗る。枚方大橋から先は高槻工兵隊に制止され、途中数回の誰何、尋問を受けたりして目的の枚方局へ到着した。一番乗りである。

ところが局員は誰も居ない、不思議に思ったが取敢えず、現金等を郵袋に詰め、枚方警察署の地下室へ運び込んだ。

大阪中電、通信局、京都からの援軍も到着。職場復帰した地方局員の話や、現場で爆発が起きると、その都度砲弾が仕掛火花みたいに飛び散り、それが近くの線路へも落下する有様で、住民全員に退去避難を命令していたそうだ。道理で歩哨の「生命は保証しな

い」と言った言葉は嘘ではなかった。丁度戒厳令下みたいな町内は、夜が更けると不気味さを増し、不連続に発生する爆発音が急に大きく耳に響き、不安な一夜を過ごしたが、翌朝から軍関係の車には急造の装甲が施されて物々しかった。

日支事変も泥沼化し戦局は重大な当時、陸軍には重大な被害が生じたと思われたのに、時局がら、新聞には発表されなかったようだ。あれから五十年、半世紀昔を思い浮べて不確かな記憶を辿ってみたが、妙に自分の自慢話をしているようで面映ゆく感じている。

なお、私と同行した内山書記補と樺田監視員とはもう五十年近く会ったことはない。

## ぜんざいの思い出

高原 博(阿南)

暁二九四〇部隊の敵潜探知を任務とする我が小隊は、暗号で「す号要員」と呼ばれ、昭和十九年五月十六日大阪港を出航した。

乗船は九八〇〇トンの津山丸、六月三日唐洋に入港、給水を終え、東支那海をジグザグ行進するが、危険水域に入ると一昼夜三交替の戦闘態勢となる。上番八時間、神経は探知機の方向距離表示盤と受信器に張りつめたままとなり、ピンピンと受信器に飛び込んでくる測距符号は、秒刻みで休む間もない。下番は睡眠と休養、中番勤務は食事以外は舷側で眼鏡又は裸視で潜望鏡が波を切る僅かな変化も見逃さないように対潜監視につく。

危険水域を出ると、船と並進したり、ジャンプしながら泳ぐイルカや、飛魚の群に出会うこともあり僚船とは手旗信号で「無事航海を祈る」。今度は横浜でお逢いしましょう。等と交信したり、美しいサンゴ礁や椰子の木

繁る島々が影絵のように出沒し、果てしなく広がる南の海を眺めながらさまざまな風景を楽しむひとときもある。

六月一四日マニラ入港、乗船部隊五千人が上陸を終わったのは翌日、久し振りに踏みしめる大地の感触は何ともいえぬ、この感触を確かめるため私は暫らく一人で歩き、やっぱりまだ生きていたんだなあ、しみじみ思った。

溢れるような陽の光はまばゆく、名も知らぬ熱帯の樹木は目も覚めるような原色の花をつけ、群がる椰子の葉の一枚々々が柔らかな剣のような形で真白に輝いて海風にはためいている。椰子の葉音が何故か私に永遠とか生命の不思議さとかを考えさせていた。バシシー海峡で失った多くの戦友のことを思い出しながら歩いてきた故かも知れない。

その中にマニラの市街に入り、そこで部隊の者と一語になって軍人喫茶へ入った。

ここではぜんざい、しるこ、おはぎ等、甘党には何ともこたえられない懐かしいものが一杯あった。二杯目のぜんざいを手にしようとした時、「タカハラサン」と、思いがけなく優しい女性の声がある。異郷のマニラで自分の名を呼ばれたので狐につままれたような気持ちで我が耳を疑いながら振り返ると、そこには年の頃一七、八位であるうか、碧眼紅毛の美女が婉然として立っているではないか私にはどうしても声の主が彼女だとは信ぜられなかった。後で分かったことだが、当時の軍人喫茶の給仕さん達は日本語の勉強が熱心で、略帽に白糸で縫いつけた私の名前位は読める程進んでいたということであった。



## ハワイ旅行

地行 祐助(徳島)

昨年十一月末、大阪国際空港発のノースウエスト航空で七日間のハワイ旅行に出発した。飛行機は途中、日付変更線を通り、飛行時間は約八時間でハワイのホノルル国際空港に到着した。大阪を出る時は少し寒かったのに厚着をしていたが、ホノルルに到着したとたん汗をかく暑さで、さすが常夏の国ハワイの実感を膚で感じた。

空港で現地人のレイサービスを受け、休憩の後観光バスで市内観光に向かう。市内観光では、ハワイ王朝時代の宮殿であり、現在は博物館となっているカメハメハ大王像とイオラニ宮殿ほか有名地を観光し、夕刻宿舎のホテル・シエラトンワイキキに入った。

このホテルは、有名なワイキキビーチの中央に位置する三十一階建てのリゾートホテルでこのホテルを起点として、ハワイでの六日間を過ごすこととした。

二日目は、終日自由行動日で、ワイキキにて海辺の散策や、海水浴を終日楽しみ、夜はショッピングなどハワイの休日をゆっくりと過ごした。ワイキキでは大勢の人が海水浴や日光浴を楽しんでいた。

三日目、四日目は、ハワイ諸島の島めぐりを行い、夜は本格的なハワイアンとフラダンスを楽しむ。

五日目はオプショナル、ツアーなどを利用して、ハロハの思い出の一夜を、世界的に有名なシーライフ、パークを見学した。

最終日は、第二次大戦で、日米戦の口火を切った真珠湾見学や、夜はポリネシア、カルチャーセンターにて、ポリネシア、ディナーショー(夜のショー)を楽しむ。優雅なハワイアン、ミュージックにのって美しい踊り

達が舞う、本場のフラダンス、強烈なタヒチアンリズムをバックに逞しい男性ダンサーが踊る「火の踊り」を見ながらディナーの一時を過ごした。

ハワイの海辺は、夜どおし、ムームーや、アロハのシャツを着た世界中の人達で溢れている。道の下に埋め込まれた白い照明に椰子の葉は白く輝き、一方丸い葉陰にはブルーの照明が輝き、美しい星空の下で金髪の白人も黒人も、日本人も楽しげに散歩している。

ハワイはまた温和な気候と、美しい緑に囲まれた夢の島で、のどかな風情と、親しみやすい島の人々との暖かいふれあいを感ぜさせる、「ハワイは夢のパラダイス」である。日常の人々のあいさつも「ハロハ」で始まる。楽しかったハワイでの思い出を胸に、ホノルル空港発ノースウエスト航空でハワイを後にした。

## タイ旅情

溝淵 匠(鴨島)

去る三月上旬、初めてタイを訪ねた。出発時の大阪空港は、薄ら寒い春であったが、着いた異国は真夏日の日々だった。

バンコクの国際空港に降り立った私は、日本企業のネオンの多いのに驚いた。翌朝の町は日本と変わらぬ車の混雑ぶり。車の殆んどは日本車である。タイ人はタクシーの代りに三輪車を利用しているが、乗車前に行先を告げて料金交渉を行っていたのが印象的である。

タイの町流す日覆の三輪車歩道では、茶色の夏衣をまとった僧侶の姿が目立ち、商いの女性が行き交っていた。

緑陰にバス待つ僧の立話  
マンゴ売る天秤棒の市女傘

仏教国タイは僧侶を大切にする風習がある。食事は接待を受け、バスは無料のようだ。

緑蔭の僧にもてなす昼餉かな  
 王宮の敷地は广大で、きらびやかな建物  
 並ぶ。中央に素晴らしい釈迦堂が有り、大勢の  
 人々が静座して敬虔な祈りを捧げていた。

王宮の白堀めぐる暑さかな  
 王宮の芝の絨氈黄蝶舞ふ

釈迦堂に備へて昼の扇風機  
 回廊に迷ひ込みたる蝶白し

運河めぐりの遊覧船に乗った。船は川をさ  
 かのぼり、運河の奥にある水上市場へと進む。  
 運河沿いの家々には、どの庭にも雨水をうけ  
 て飲料水を確保するための大甕が数個並べら  
 れている。

両岸に並ぶ寺院や夏の川  
 遊船にバナナ売る舟しかとつけ

大甕を並べてカンナ燃ゆる庭  
 翌日はバスで郊外に出た。街並みは日本の

戦災後を思わせるようなバラック建ての住ま  
 いが続く。更に進むと沿道に日本の自動車工  
 場や電機工場が続々と建設中である。日本企  
 業強しの感がした。産業道路は限りなく伸び、  
 見渡す限り平野が広がる。

稔りたる稲田の畦の椰子並木  
 大家族出でて早稲田を刈ってをり

白鷺の群るる水田に椰子の影  
 椰子の実を山と積みたる夏館

大日傘椰子の実を選る女かな  
 途中椰子の茂るドライブインにバスを止め  
 一休みする。

旅疲れ椰子の葉涼し四阿に  
 緑陰に民俗楽器奏でをり

パンコクから三時間余り走り、パタヤとい  
 う海岸に到着。ここでゆっくりと南国情緒を  
 満喫した。

涼しさや遊覧馬車を椰子に止め

潮騒に椰子の蝉声とぎれ勝ち  
 黄昏の椰子の並木の飛燕かな  
 合歓咲ける野外の宴の十字星  
 三泊四日のタイの旅。こうして最後の夜を  
 惜しみ、翌朝早く帰途についた。

釈迦祀るホテルの庭や燕飛ぶ  
 飛燕鳴く夜明けの宿を発ちにけり

シンガポールを偲んで(二)

山口 満夫(松山)

兵站旅館に落ちついて飲むビールの味は格  
 別、笑ったら無償で手に入るほど安いバナナ  
 の味覚と香りもさることながら、二人の息子  
 さんを早稲田大学へ留学させている福建省出  
 身の台湾人の方から、ふとした縁で終夜歓待  
 されたことは、今なお忘れることができない。  
 翌朝午前八時過ぎ屏東飛行場よりマニラへ  
 向け出発した。当時は海上は敵の潜水艦の出  
 没で危険を避けたのだらう。

対岸の福建省辺りを迂回し、香港を経て中  
 国大陸を横断、マニラの北飛行場に着陸した  
 のは日没に間のない頃だった。この飛行場は  
 後日激戦地となり、滑走路は殆んど破壊され  
 使用できないまま終戦を迎えたとか。

兵站宿舎のマニラホテルには、南方へ派遣  
 された職業軍人や囑託二百名ほどが待機して  
 いた。ホテルの周辺は燃えるような真赤な花  
 が咲き、南国情緒豊かな建物で、マニラ湾か  
 らの涼風もあり、風光明媚な所だった。

部屋は二階、隣はビルマの雲母開発のため  
 商工省より派遣された元局長クラスの佐官待  
 遇の囑託。この御人には大変お世話になった。  
 部屋はシャワー化粧室にダブルベット、天井  
 は三枚羽根の扇風機があり、応待セットの脇  
 置には各種のウイスキーが並び、生まれて初

めての豪華版。隣の御人と毎晩ボトル一本は  
 平気だった。階下のグリルには一流のコック  
 がいて、注文すれば大抵の料理は作ってくれ  
 るし、ご気嫌でチップをはずむとステッキガ  
 ールを紹介してくれる。南国の夜は長いが退  
 屈はしない。ロビーの娘さんのサーブスも満  
 点。ほろ酔い気嫌で近くのリザール公園へ散  
 策中、突然スペイン語らしい言葉で呼びかけ  
 られた。振り返ると、年のころ二〇才前後の  
 美しい娘さんだった。たぶんスペイン系の混  
 血児だらう。かねてホテルの支配人から、外  
 国語で相手から声をかけられたら、返事をし  
 て、レジャーを申し込めばOKと聞いていた  
 が、学生時代の単語程度の英会話では荷が重  
 い。それでも勇気を出して出まかせの単語を  
 発音して彼女を見ると、にっこり笑ってくれ  
 る。心得たもので日本語をうまくミックスし  
 て、結構私の意志は通じたものですよ。

投稿規定

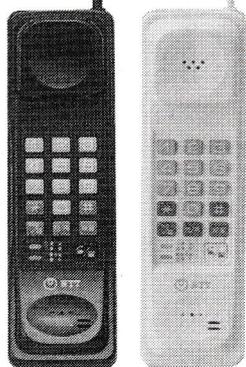
- 一 会員消息 四〇〇字以内
  - 二 短歌、俳句、川柳 五首又は五句以内
  - 三 随筆、随想 六〇〇字以内
- 原稿締切 五月二〇日
- ・ 字数はなるべくお守りください。
  - ・ 原稿の取扱いについてはお任せ願います。

電友会四国連合会会報 第六七号  
 平成元年七月一日発行  
 編集発行 電友会四国連合会  
 事務局  
 松山市一番町四一三(二七九〇)  
 N T T四国支社内  
 電話〇八九九三六一二〇二三  
 印刷 四国電話印刷株式会社

内線通話など、一步すすんだコードレス。

ハウディ・コードレスホン

# パッセS



ブルーブラック オフホワイト



販売価格 **59,800円** (消費税別)

(割賦払いもご利用いただけます)

オフホワイト[12634] ブルーブラック[12635]

※販売価格には、工事費は含まれておりません。

※〔 〕内の数字は、商品管理コードです。

 **NTT**